

# こ る ん

新年あけましておめでとうございます。医療法人菊郷会理事長の坂本 尚でございます。皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は当院に皆さまからの多大なるご尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

昨年 10 月より、札幌センチュリー病院にて副院長として勤務していた葛西 健二先生を当院院長として迎え、外来・入院治療ともに以前よりさらに充実した医療を提供できるようになりました。今後も石橋胃腸病院がより多くの医療サービスを提供し、皆さまにご利用いただけるよう精進してまいります。

以上、はなはだ簡単ではありますが、年頭に当たりましての私の挨拶とさせていただきます。今年も皆さまにとりまして、さらなる素晴らしい年となることを心より祈念いたします。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

理事長 坂本 尚

あけましておめでとうございます。戌年の新年を迎え、皆さますがすがしい新たな気持ちでお過ごしのことと思います。私は昨年 10 月に院長に就任し、初めての新年を迎えることができました。旧年中は患者さま、連携医療機関の皆さま、当院をご利用いただきありがとうございました。

今年平成 30 年は 6 年に 1 度の診療報酬・介護報酬の同時改定があります。団塊の世代がすべて 75 歳以上の高齢者となる“2025 年問題”に向けた道筋を示す重要な年となります。国の指針では、医師やパラメディカルスタッフなどの労働人口が減少していくなか、超高齢化社会となるため、病院の機能分化を進め、診療効果、効率を高める努力をするよう述べられております。当院では内科・透析医療の 2 本柱を確固たるものとし、同じ医療法人である札幌センチュリー病院はじめ地域の医療機関との連携を引き続き強固なものとするにより、いっそうの治療効果、効率を高めていきたいと考えております。一方、連日テレビでは健康番組が放送されているように、健康に対するニーズが高まっております。当院ではそれを受けて健康事業をさらに拡充、充実していく予定であります。今年も地域の皆さまの健康、医療をしっかり守るよう、職員一丸となって鋭意努力をおしみません。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

院長 葛西 健二

医療法人菊郷会 石橋胃腸病院

〒003-0863 札幌市白石区川下 3 条 4 丁目 2-1

TEL 011-872-5811 FAX 011-872-5814

<http://www.ishibashi.or.jp/>





# あけましておめでとうございます 2018

新たな年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、多方面にわたりご指導、ご支援を賜りまして誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

2018年度は、介護報酬・診療報酬の同時改定のみならず、第7次医療計画・第7期介護保険事業（支援）計画・第3期医療費適正化計画がスタートという、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目の年となります。昨今の政局は混迷を極め、医療・介護を取り巻く現況も流動的であり、政策次第によっては激変する危機をはらんでいます。

先の読めない情勢の中で、時代のニーズに即した効率化と適正化を促進し、健全な運営基盤のもとでさらなる進化を遂げ、石橋胃腸病院が地域の皆さまにより一層の信頼を頂ける「かかりつけ医」となれるよう、努力して参ります。

副院長 瀬戸 一寿



新年明けましておめでとうございます。新年のご挨拶にかえて当院で経験した患者さまの一例を紹介したいと思います。

80歳代の女性で、当院を受診した主訴は長く続く下痢です。大腸内視鏡検査を施行しましたが、大腸粘膜には異常を認めません。ここで患者さまの病歴を見直してみますと、脳梗塞の既往があり、バイアスピリン（血液をさらさらにする薬）とタケプロン（胃酸を出さないようにする薬）が処方されていました。

このことで以前に経験した病気に思い当りました。診断名はこうげんせんいせいだいちょうえん膠原線維性大腸炎です。この病気は原因不明で、日本での報告は少ないですが欧米では下痢の原因疾患の10%以上を占めているといわれています。大腸内視鏡では所見のないことが多いというのも特徴です。また、タケプロンによって起こることがあるとされています。この患者さまの場合、タケプロンを中止すると下痢は改善しました。

このようにひどい下痢で腸の検査を行い原因が分からない患者さまでも、病歴をきちんと把握することで治すことができることもあります。（この患者さまの場合、タケプロンを中止するようにお話ただけですが…）

今後とも患者さまの話をよく聞き、当院以外での処方などもチェックすることが正しい診断の為に大事だと考えさせられる患者さまでした。

本年もよろしくお願ひします。

副院長 入江 達郎



皆さまあけましておめでとうございます。

当院で本格的に透析治療を開始してから早くも6年が経ちました。

この間、患者さまが増えたために透析室を拡充し、更にはドアからドアへの送迎も開始して患者さまからは大変喜んで頂いております。

特に近隣の高齢者施設に入られ、送迎を利用する方が年々増えてきております。また入院されている透析患者さまに充分満足いただけるよう看護師、薬剤師、リハビリ、栄養士など全てのスタッフが日々研鑽を積んでおります。

今後も明るく、安心で、信頼される透析室を目指し、一層の努力をしてまいりますので、どうぞ今年も当院をご利用くださいますようお願い申し上げます。

名誉理事長 有馬 滋



# 皆様に新年のご挨拶申し上げます。



事務長 菊池 竜

新年明けましておめでとうございます。昨年も、ここ数年と同様に、患者・ご家族さまをはじめ、地域連携先の皆さまから、多大なる支援を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。今年も、地域の皆さまに温かく、そして質の高い医療を提供し続ける事を我々のビジョンとして邁進してまいります。平成 30 年が皆さまに取りまして良い年になります事を御祈りつつ新年の挨拶とさせていただきます。



療養病棟師長 川口陽子

あけましておめでとうございます。昨年はたくさんの患者さまやそのご家族との関わりの中で私達も元気を頂きました。今年も病気や日常生活の援助を中心に皆様に元気を届けられる様にスタッフ一同努力してまいります。

医療相談室ソーシャルワーカー

真鍋裕光

入院の相談、退院の支援だけでなく、入院生活の中での困りごとの相談にのり、解決に向けてのお手伝いが出来るように努力してまいります。

臨床工学科科長 金谷 樹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。近年の医療において医療機器はなくてはならないものです。臨床工学科では皆さまに適切な医療の提供が出来るように医療機器の管理に責任を持って対応していきたいと考えています。地域の皆さまに信頼され、地域医療の一助となるよう一層努力してまいります。



看護部長 三瀬三栄子

あけましておめでとうございます。先日信号待ちで懐かしい顔に出会いました。お互いに「アラー」と声をかけあい、話に花が咲き青信号を2回見送り「じゃあ元気でねー」と別れ「エーと名前は・・・」横断歩道を歩いてやっと以前入院していたご家族と思いだしました。年と共に物忘れが多くなりますが今年も心と脳に残るであいを重ねていきたいと思えます。どうぞよろしく♥



放射線科長 佐藤 滋人

先日レントゲンの撮影時に患者さまから「便秘で病院にかかるのは大袈裟でしょうか」と聞かれました。全くそんなことはありませんとお答えしました。違和感があれば受診して下さい。気づかない病気かも知れないし、何もなければそれで安心ですから。本年も健康維持に貢献できればと思います。



2階一般病棟 鈴木いくえ

患者・ご家族さまの不安を解消し、思いに寄り添えるよう、皆さまの声に耳を傾けていきたいと考えております。今年も他職種との連携を図り、よりよい医療と看護の提供に努めてまいります。

透析室主任 寺原知恵

皆さまが今年の干支の戌のように元気に過ごせますようにスタッフ一同努めてまいります。どうぞよろしく申し上げます。

薬剤科科長 岸田 嘉敏

本年も患者さまに安心して病気と闘って頂けるよう努力を続けていきたいと考えております。お気軽にお声掛け下さい。

3階一般病棟主任 山戸育実

当病棟は慢性疾患を抱える患者さまが多く入院されています。残存機能を活かし、自己管理能力を高めるような日常生活の援助を中心に行っています。コミュニケーションを大切にし、患者さまが自分らしく生活できるような環境の提供をしております。今年も宜しく申し上げます。

リハビリテーション科科長

河村祐輔

新年あけましておめでとうございます。皆さまとのコミュニケーションを大切に、それぞれの望む生活に近づけられるよう適切なリハビリテーションを提供してまいります。皆さまの健康をお祈りしております。

外来看護主任 土居恵子

あけましておめでとうございます。今年も皆さまの声に耳を傾け、安全な医療・看護の提供と安心して生活が送れるように皆さまを支えていきたいと思えます。

栄養科管理栄養士

長澤 織江

あけましておめでとうございます。患者さまの元へ美味しく楽しく安全なお食事を届けられる様に、厨房一同努力してまいります。



# 栄養一口メモ

## たら かすじる 鱧の粕汁

～材料(4人前)～

- ・鱧…400g ・大根…200g ・人参…50g ・じゃが芋…3個
- ・白菜…2枚 ・長ねぎ…1本
- ・酒粕…100g ・味噌…50g ・昆布だし汁…7カップ ・塩…少々



～作り方～

- ① 鱧は、一口大に切り、塩を少々振って熱湯をかけ、魚の臭みを取ります。
- ② 大根と人参はいちょう切り、じゃが芋は皮をむき乱切り、白菜はぶつ切り、長ねぎは斜め切りにします。
- ③ 鍋に昆布だし汁と野菜を入れ、野菜が柔らかくなったら鱧を入れます。
- ④ 酒粕と味噌をといて混ぜ、味をととのえて火から下ろす際に長ねぎを加えます。



冬に旬をむかえる鱧に多く含まれる、グルタチオンという物質には、強い抗酸化・抗ストレス作用があり、細胞の老化やがん化を防ぎます。鱧は消化・吸収の良さにも優れているので離乳食などにも適しています。

## 関連病院

### 医療法人菊郷会 札幌センチュリ-病院

〒003-0825 札幌市白石区菊水元町5条3丁目5番10号

TEL(011)871-1121 FAX(011)871-0047

診療科目 内科・外科・消化器科・整形外科・循環器科・乳腺外科・  
泌尿器科(人工透析)



### 医療法人菊郷会 愛育病院

〒003-082 札幌市中央区南4条西25丁目2番1号

TEL(011)563-2211 FAX(011)522-1691

診療科目 内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・外科・麻酔科・  
整形外科・小児科・リハビリテーション科・画像生理検査部門



### 医療法人菊郷会 富丘腎クリニック人工透析センター

〒006-0011 札幌市手稲区富丘1条4丁目5番33号マックスビル3階

TEL(011)686-5005 FAX(011)686-5006

診療科目 人工透析(外来のみ)

